

開講開始年度	2021
授業コード	1PA1150
担当教員	渡辺 篤志
科目	情報処理演習
単位数	⑤ 選択 2 単位
授業概要	<p>③ 初学者を対象とした情報科学系の演習。グラフィックや動画、音声などを挿入できる多機能なワープロソフト(Word)と、表作成に加えグラフ作成やデータ処理を行う表計算ソフト(Excel)の活用方法を修得するとともに、情報リテラシーの基礎を学ぶ。これらは在学時のレポートや卒業研究に必須なだけでなく、卒業後も実社会でそのスキルを要求される。課題の提出を指示する。</p> <p>データサイエンスについて、演習以外の内容は、オンデマンドを併用して解説する。オンデマンドでは、1. 社会におけるデータ・AI 利活用(社会で起きている変化、社会で活用されているデータ、データ・AI の活用領域、データ・AI 利活用のための技術、データ・AI 利活用の現場、データ・AI 利活用の最新動向)、2. データリテラシー(データを読む、データを説明する、データを扱う)、3. データ・AI 利活用における留意事項(データ・AI を扱う上での留意事項、データを守る上での留意事項)を解説する。</p>
学位授与方針の関連 到達目標	<p>① << 学位授与方針との関連 >> (2)救急救命士に必要な医学的知識 医学に関する基礎知識、救急医療に関する基礎知識、災害・防災の基礎知識を持ち、それを対象者に活用することができる。</p> <p><< 一般目標(GIO) >> 情報リテラシーを通して情報処理技術を理解し、活用できる能力を修得する。</p> <p><< 個別目標(SBOs) >> ①コンピュータの操作を習熟し、ファイル操作や種々の設定などができる。 ②Word の基本的な使用方法を理解し、一般的な文書作成ができる。 ③Excel の基本的な使用方法を理解し、計算・統計手法、グラフの作成などができる。 ④Excel における関数の使い方を理解し、正しい結果を導くことができる。 ⑤インターネットを利用して必要な情報を収集することができる。 ⑥データサイエンスの基礎を修得し、用語を用いてデータサイエンスについて概説することが出来る。</p>
授業計画	<p>⑥ *** <担当教員> *** 渡辺 篤志 オンデマンド担当:大森 拓哉、坪下 幸寛、吉田 清隆、橋本 晃生 *** <授業計画> *** ②④ 1.ガイダンス[講義・質疑応答] 授業の進め方や学内コンピュータの使用方法などについて説明する。 2.Windows の基礎、ファイル操作[講義・演習] ディレクトリ構造を理解するとともにファイル操作法について説明する。 3.画面構成、文字の入力、文字列の操作[講義・演習] Word および Excel の画面構成や IME の使い方について説明する。 4.書式設定、フォント、修飾設定、日付設定[講義・演習] Word を利用した文書の書式設定等について説明する。 5.文字スタイル、段落書式、タブ設定[講義・演習] Word における段落設定について説明する。</p>

	<p>6.ヘッダー、フッター、段組とレイアウト[講義・演習] Word のレイアウト構成について説明する。</p> <p>7.セルの書式設定、演算方法[講義・演習] Excel へのデータ入力方法および演算方法について説明する。</p> <p>8-9.関数の利用方法[講義・演習] Excel における関数の使い方について説明する。</p> <p>10.グラフの作成[講義・演習] Excel でのグラフの作成方法について説明する。</p> <p>11-14.演習[演習] 学習した内容について演習問題を行う。</p> <p>15.総合演習[演習] これまでに学習した内容について総合演習を行う。</p> <p>★フィードバック方法:質疑については、次回授業にて説明をする。</p> <p><オンデマンド授業> オンデマンド授業の視聴については、授業進行との兼ね合を考慮した上で適時指示する。 視聴後、オンデマンド授業内容について試験を実施する。</p> <p>1. 社会におけるデータ・AI 利活用[講義] 社会で起きている変化と活用されているデータ。AI の活用事例</p> <p>2. データ・AI 利活用のための技術[講義] AI 利活用の現場と最新の動向について</p> <p>3. データリテラシー・データを読む[講義] データを読解について</p> <p>4. データリテラシー・データを扱う[講義] データの取り扱いと活用</p> <p>5. データ・AI 利活用における留意事項[講義] データや AI の利活用と留意点について</p> <p>★フィードバック方法:授業内試験のフィードバックや質問等のサポートは、WEB 等オンラインで行う。</p>
<p>授業外学習(予習・復習等)の具体的な内容と必要な標準的な時間</p>	<p>1.予習:教科書の該当ページ(P4~P6)に目を通し、可能であれば操作を行うこと。 復習:その日のうちに学習したことをもう一度確認して操作ができるようになること。 (予習 30 分・復習 30 分)</p> <p>2.予習:教科書の該当ページ(P7)に目を通し、可能であれば操作を行うこと。 復習:その日のうちに学習したことをもう一度確認して操作ができるようになること。 (予習 30 分・復習 30 分)</p> <p>3.予習:教科書の該当ページ(P8~P12)に目を通し、可能であれば操作を行うこと。 復習:その日のうちに学習したことをもう一度確認して操作ができるようになること。 (予習 30 分・復習 30 分)</p> <p>4.予習:教科書の該当ページ(13~P22)に目を通し、可能であれば操作を行うこと。 復習:その日のうちに学習したことをもう一度確認して操作ができるようになること。 (予習 30 分・復習 30 分)</p> <p>5.予習:教科書の該当ページ(P23~P27)に目を通し、可能であれば操作を行うこと。 復習:その日のうちに学習したことをもう一度確認して操作ができるようになること。 (予習 30 分・復習 30 分)</p>

	<p>6.予習:教科書の該当ページ(P28～P34)に目を通し、可能であれば操作を行うこと。 復習:その日のうちに学習したことをもう一度確認して操作ができるようになること。 (予習 30 分・復習 30 分)</p> <p>7.予習:教科書の該当ページ(P73～P84)に目を通し、可能であれば操作を行うこと。 復習:その日のうちに学習したことをもう一度確認して操作ができるようになること。 (予習 30 分・復習 30 分)</p> <p>8.予習:教科書の該当ページ(P85～P88)に目を通し、可能であれば操作を行うこと。 復習:その日のうちに学習したことをもう一度確認して操作ができるようになること。 (予習 30 分・復習 30 分)</p> <p>9.予習:教科書の該当ページ(P89～P92)に目を通し、可能であれば操作を行うこと。 復習:その日のうちに学習したことをもう一度確認して操作ができるようになること。 (予習 30 分・復習 30 分)</p> <p>10.予習:教科書の該当ページ(P93～P109)に目を通し、可能であれば操作を行うこと。 復習:その日のうちに学習したことをもう一度確認して操作ができるようになること。 (予習 30 分・復習 30 分)</p> <p>11-14.予習:今までに学習した内容について確認しておく。 復習:演習問題をもう一度見直し、出来なかった部分をできるようにすること。 (予習 45 分・復習 30 分)</p> <p>15.予習:今までの内容について総合的に確認しておくこと。 復習:演習問題をもう一度見直し、出来なかった部分をできるようにすること。 (予習 60 分・復習 30 分)</p> <p>オンデマンド授業について 下記テキストの各章を予習し、視聴後ノートを完成する。 ※授業外学習時間は、60 時間必要であるため、不足分は休暇等を利用して復習すること。</p>
テキスト	<p>「30 時間アカデミック 情報基礎 Word&Excel 2019」 ISBN:978-4407348347 杉本くみ子、大澤栄子著 実教出版</p> <p>データサイエンス入門第2版 ISBN978-4-7806-0730-7 学術図書出版社</p>
参考書	書店にて、自分に合う参考書を入手することを薦める。
成績評価の方法・基準	<p>⑦ 定期試験実施:無 再試験実施:無</p> <p>成績評価方法:授業中に行う演習(50%)と総合演習(50%)の総合評価で判断する。</p> <p>* オンデマンド授業の確認試験評価は、授業中に行う演習評価に含まれる。</p>
URL	
備考	<p>履修・受講に対する注意:欠席すると次回の授業が理解できないことがあるので、欠席するときには必ず自主学習で欠席分を補うこと。作成したデータを保存するための USB メモリを用意すること。</p> <p>◀ 実務経験のある教員による授業科目 ▶</p> <p>科目代表教員の実務経験有無:無</p>

開講開始年度	2021
授業コード	1PA1360
担当教員	岡本 博照
科目	公衆衛生学 I
単位数	⑤ 必修 2 単位
授業概要	<p>③ 公衆衛生学とは「社会における組織的な働きかけにより、疾病を予防し、寿命を延ばし、身体的・精神的機能を増進させる科学であり技術である」と、定義されている。公衆衛生学の領域は多岐にわたっているが、本講 I では保健学の出発点ともいえる公衆衛生学の基本的技術論、方法論を中心として解説し、年齢階層や、社会的機能集団の各次元で、それぞれの特質に合わせた取り組みについて、実践的な視点からの解説も行う。</p> <p>なお、この科目は第一種衛生管理者免許資格取得のための要件なので、労働衛生の観点からも適宜解説する予定である。</p>
学位授与方針の 関連 到達目標	<p>《学位授与方針との関連》</p> <p>(1)各学科に求められる基本的かつ実践的能力 各学科で求められる基本的知識および技術を修得し、これを実践の場で活用することができる。</p> <p>(2)問題解決能力 自ら発見した問題や課題について、科学的かつ客観的に説明を加え、論理的に問題を解決できる。</p> <p>《一般目標(GIO)》</p> <p>① 公衆衛生学の基本的技術論、方法論について理解する。</p> <p>《個別目標(SBOs)》</p> <p>①公衆衛生学、疫学の基本概念について理解する。</p> <p>②年齢階層や、社会的機能集団の各次元それぞれの特質に合わせた取り組みについて理解する。</p>
授業計画	<p>*** <担当教員> ***</p> <p>⑥ 岡本 博照、照屋 浩司、大嶺 智子、大久 朋子、片桐 朝美、石野 晶子、関澤 浩一、楠田 美奈</p> <p>*** <授業計画> ***</p> <p>②④ 1.地域社会と公衆衛生[講義・小テスト・質疑応答](照屋) 健康の概念、公衆衛生学の概念、予防医学の考え方について、その歴史的背景もふまえて学ぶ。</p> <p>2.疫学的なものの捉え方とは[講義・小テスト・質疑応答](照屋) 疫学の考え方、疫学指標、危険度(相対危険度、寄与危険度、オッズ比)について理解する。</p> <p>3.人口統計からみた地域と世界[講義・小テスト・質疑応答](照屋) 人口静態統計、人口指標、人口ピラミッド、高齢化と少子化について、地域・世界を比較して学ぶ。</p> <p>4.地域における保健栄養学的課題[講義・質疑応答](大久) 国民健康栄養調査、食糧需給表などから食習慣、栄養摂取状況などについて学ぶ。</p> <p>5.地域と福祉[講義・質疑応答](片桐) 福祉・介護制度の概要、介護保険、介護保険サービスの基礎的事項を理解する。</p> <p>6.母子保健[講義・質疑応答](石野) 母子保健の課題、母子保健事業などについて学ぶとともに、国の施策や法案についても理解する。</p> <p>7.学校保健[講義・質疑応答](大嶺) 学校保健の概要について理解し、学校保健統計調査、学校感染症についても学ぶ。</p> <p>8.身近な遺伝問題と健康[講義・質疑応答](関澤)</p>

	<p>身近な遺伝問題と健康のかかわりについて理解するための、基礎的な知識を学ぶ。</p> <p>9.精神保健[講義・質疑応答](岡本)</p> <p>ストレス、ストレスマネジメント、精神疾患・自殺の現状や予防対策について理解する。</p> <p>10.生活習慣病予防の取り組み[講義・質疑応答](照屋)</p> <p>主な生活習慣病の特徴、統計、その現状や予防について学ぶ。</p> <p>11.地域における環境課題[講義・質疑応答](照屋)</p> <p>公害や地球的規模の環境問題について、基礎的事項を理解する。</p> <p>12.産業保健学概論[講義・質疑応答](楠田)</p> <p>労働衛生の基礎的事項、労働安全衛生対策、特定健康診査・特定保健指導などについて学ぶ。</p> <p>13.地域保健[講義・質疑応答](岡本)</p> <p>保健所、地域保健センターなど、地域レベルでの保健対策について理解する。</p> <p>14.保健統計 1[講義・小テスト・質疑応答](岡本)</p> <p>人口動態統計の概要、出生、死亡に関するさまざまな指標やデータについて学ぶ。</p> <p>15.保健統計 2[講義・小テスト・質疑応答](岡本)</p> <p>国民生活基礎調査、患者調査などの傷病統計の概要とデータについて理解する。</p> <p>★フィードバック方法:小テストのフィードバックは講義時間内に行う。</p>
<p>授業外学習(予習・復習等)の具体的な内容と必要な標準的な時間</p>	<p>1.予習:教科書 P.2-6、P.10-15 を読み、ノートにまとめる。</p> <p>2.予習:教科書 P.68-69、P.73-83 を読み、ノートにまとめる。</p> <p>3.予習:教科書 P.35-42 を読み、ノートにまとめる。</p> <p>4.予習:教科書 P.62-65、P.111-114、P.149 を読み、ノートにまとめる。</p> <p>5.予習:教科書 P.206-212 を読み、ノートにまとめる。</p> <p>6.予習:教科書 P.216-224 を読み、ノートにまとめる。</p> <p>7.予習:教科書 P.63、P.237-242 を読み、ノートにまとめる。</p> <p>8.予習:事前に資料配布を行うので目を通す。</p> <p>9.予習:教科書 P.129-132、P.136-142、P.188-194 を読み、ノートにまとめる。</p> <p>10.予習:教科書 P.153-173 を読み、ノートにまとめる。</p> <p>11.予習:教科書 P.16-23 を読み、ノートにまとめる。</p> <p>12.予習:教科書 P.229-237 を読み、ノートにまとめる。</p> <p>13.予習:教科書 P.211-216 を読み、ノートにまとめる。</p> <p>14.予習:教科書 P.41-51 を読み、ノートにまとめる。</p> <p>15.予習:教科書 P.53-63 を読み、ノートにまとめる。</p> <p>※1-15.復習:配布資料なども参考に、周辺の領域も含め十分に復習すること。</p> <p>※全ての回、予習は 30 分、復習は 60 分必要とする。</p> <p>※公衆衛生学の領域は多岐にわたっており、オムニバス形式の講義でもあることから、断片的な学習となることが懸念される。当日講義予定の項目は、以下に記載の参照ページについて、事前に教科書で予備的な知識を得るために十分に予習を行うこと。</p> <p>※授業外学習時間は、60 時間必要であるため、不足分は休暇などを利用して復習すること。</p>
<p>テキスト</p>	<p>「エッセンシャル 社会・環境と健康 第 2 版第 11 刷」、ISBN:978-4-263-70497-4、医歯薬出版</p>

参考書	「国民衛生の動向」厚生統計協会、「最新臨床検査学講座 公衆衛生学 第1版 第7刷」照屋 浩司、川村 堅著 医歯薬出版 2021年
成績評価の方法・ 基準	<p>定期試験実施:有(持込 不可) 再試験実施:有(持込 不可)</p> <p>成績評価方法:定期試験(90%)、レポート・小テスト(10%)</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>⑦ 定期試験実施:無 再試験実施:無</p> <p>成績評価方法:毎回の授業後課題提出状況および内容による評価(100%)</p> <p>※2021/5/29 修正済み</p>
URL	
備考	<p>第1種衛生管理者免許資格科目</p> <p>《実務経験のある教員による授業科目》</p> <p>科目代表教員の実務経験有無:有 実務経験に係る保有資格(勤務年数5年以上):医師</p> <p>実務経験をいかした教育内容:医療機関、事業所、役所、学校等で、公衆衛生業務に従事した経験を活かし、実務経験を反映させた公衆衛生学に関する教育を実施している。</p>